

平成29年9月15日

保護者様

千葉県立長生高等学校
校長 大山 光晴

北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る対応について

初秋の頃、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろから、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、北朝鮮による弾道ミサイル発射やJアラート発信の際における、生徒の安全確保についての本校での対応につきまして、以下のようにまとめました。

ご家庭におきましても、ご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

記

1 生徒が学校内にいる場合

(1) Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合

・校舎（体育館）内にいる場合

校舎内の場合、窓ガラス飛散防止のため、教室のカーテンを閉め、出来るだけ窓から離れ、頭部を守る。体育館の場合は、出来るだけ中央部で、頭部を守る。

・校舎外にいる場合

校内に避難し、上記の行動をとる。

・校舎外にいる場合で、適切に避難出来ない場合

物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

(2) ミサイルが着弾した場合

・校舎外にいる（体育館内を含む）場合

口と鼻をハンカチ等で覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋又は風上に避難する。

・校舎内にいる場合

換気扇を止め、窓を閉め、できれば目張りをして室内を密閉する。

2 Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の登下校について

学校は情報収集に努める。

・登校前であれば、地域の安全が確認できるまでは、自宅待機とする。

・登校後であれば、地域の安全が確認できるまでは、校内に待機させ、屋外に生徒が出ていないようにする。

3 通学中

・頑丈な建物の中(地下)にいる場合

出来るだけ窓から遠ざかり、頭部を守る。

・頑丈な建物の中(地下)にいない場合

速やかに、頑丈な建物の中(地下)に入り、出来るだけ、窓から遠いところで、頭部を守る。

・近くに頑丈な建物や地下がない場合

物陰に身を寄せるか地面に伏せ、頭部を守る。

・車（バス等）にいる場合

安全を確認の上、バス等を降り、頑丈な建物や地下などに避難し、上記に準じた行動をとる。